



うなばら 海原

題字河原孝好先生

海城中学高等学校同窓会誌

発行

2020年12月1日

第52号

海原会

発行人 徳光和夫

編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕

〒169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1 海城学園

TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641

ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>



コロナ禍のなかで2021年7月完成を目指す新理科館 撮影 塩田顕二郎

海城健児よ！どうぞお元気で！ 来年は是非、総会、ゴルフ大会、 学園祭で再会できることを祈念 してやみません。

“秋深し となりはマスクを する人ぞ”
海原会会員各位におかれましては、お元気で
しょうか。

今年はこのコロナ禍で海原会の最大行事で
ある総会の開催が中止となり、またゴルフ大
会や見学会といった恒例行事も中止せざる
を得なくなりました。そのため皆皆さまに
直接お会いして親交を深めることもままな
らず誠に申し訳なく思っております。来年
は是非、総会、ゴルフ大会、学園祭で再会でき
ることを祈念してやみません。

さて私はこのウィルスで二人の友人を失う
という恐怖に慄く日々を過ごしましたが、自
身はいたって元気です。

このコロナ禍の中で3つの初体験を致しま
した。

1つは海原会会長としてテレビ出演をし
ました。BSテレ東の番組「THE名門校」
にわが海城学園が選ばれOB会長として取
材を受け、約40分に亘って海城OBとして誇
らしい動向を、思いつくまま語ったのですが、
映像では私が在校中にのみ出したオブラー
トをカンニングペーパーとして使用し、見つ
かりそうになると咳き込むフリをして飲み込
むというカンニング方法の話だけでした……。
思えばテレビとはそんなモノだとわかつてい
ながらも、なんとなく空虚でした。

2つ目は、コロナ禍で在宅が多くなり、妻

との会話に苦慮し、もっぱら息子達の幼少
期の話はかり。そんなある日、息子から久
しぶりに我が家に電話がかかってきました。
「あつお父さん、俺だけど、参っちゃったよ
……携帯を無くしてき、困り果てているん
だけども、今、手持ちが全くななくてさ、ちよと
まとまったお金が必要になりそうなんだけ
ど、貸してくれないかな……」

私は確信しました、次男はオレとは言わ
ず、ボクと言うと……。私はすかさず「わ
かった、それにしてもお前、もう少しウチに
連絡しろよ、お母さんが心配して、まさか
オレオレ詐欺なんかやってないでしょうね」
と言っていたぞ」と話しかけたら、電話を切
りました。

外出しない高齢者が多いこの時期は、大
ストライクなのでしょうね、同世代のご同輩、
ご注意ください。

そして3つ目は、携帯電話も所持しない
アナログの私が馬券を購入するために「タ
ブレット」に取り組み、今では馬券のみです
が、自由に見事な指先で購入することが可
能になりました。ところが、このネットでの
購入つて奴は、日本中の競馬場の馬券が買
えるため、掛け金が増え、預金がどんど
減つていき……。とまあ戯言の近況報告を
お許しください。

でも海原会の執行部、役員各位はリモ
ートなどを通じて、日々海原会の確実な
運営を進めてくれております。来年は海原
会創立100周年の年となります。また晴
れて皆さま方と再会できます機会が訪れ
ますことを祈念しております。海城健児
よ！どうぞお元気で！皆様のご健康とご
多幸をお祈りしております。

海原会会長 徳光和夫

※海原会は皆様の会費で運営されております。

海原会執行部報告

副会長 昭和41年卒 森山昭洋
総務委員長 昭和41年卒 福島賢哉

リモート役員会、委員会でも対応協議 オンライン海城祭に海原サロンも参加

今年度は、特別な年となりました。

新型コロナウイルス禍の終息の兆しはいまだ見えず、先行きの見通しの立たない状況が続いています。そのなか、生活環境も大きく変化し「新しい日常」への対応を迫られる社会情勢となっています。

海原会もこの間、3月以来9月初めまで学園への入校制限のため執行部運営は、ZOOMによる役員会や委員会を開催するなどリモートでの協議により課題の処理に努めました。役員は、初めての取り組みに戸惑いもあり、会議の前に役員間でのオンラインのテストや模擬会議などを繰り返ししたうえで、役員会など各種会議を実施しました。海原会としても新たなシーンを開くことになりました。

海原会の行事に関しては、6月6日に予定をしていた総会の開催を3密（密閉・密集・密接）を避けるために中止としました。また主要なイベントのゴルフ大会と見学会も中止しました。一方明るいニュースとして、学園生徒が主体的に開催運営したオンライン海城祭に海原会サロンもオンラインで参加をしました。校歌唄い継ぎや海原会の紹介など多彩な内容になりました。作成にかかわって下さった総務委員会を中心とする若手会員のご尽力に改めて感謝します。海原会としてオンラインで参加できたことは今後の方向性を示す一つとしてとらえています。

また、入校制限が若干緩和されましたので懸案の会計処理に取り掛かることが出来るようになり、短時間の作業の

積み重ねのため時間はかかりましたが、平成31年度の決算と会計監査、並びに令和2年度の予算案の作成なども完了できました。会計幹事の皆様には多大なご苦勞をおかけしました。

本来ならば常任幹事会で決算及び監査、予算案について報告・説明承認を得なければなりません。この状況下のため、常任幹事には電子メールを主に、メールアドレスの不明な幹事には郵送により資料をお送りし承認を得る形にしましたところ特段のご異議もなくご承認を頂くことが出来ました。対面による会議などが困難な現状下ではメールやZOOMによる運営執行が効果的であることを実感した次第です。今後ともメールアドレスの登録を会員に働きかけてまいります。

海原会100周年記念事業にしましては記念事業検討委員会にて鋭意検討を進めております。先が見通せない中、コロナの事も考慮しつつ様々な案を検討中です。また改めてご報告をさせていただきます。毎年恒例の新人会を祝う会は、コロナ禍での安全な開催を目指して当該年度の幹事が検討を進めているとの事です。会として従来通り支援することを予定しておりますが推移を見守ってまいります。

今後も、3密を避けソーシャルディスタンスを保ちながら執行運営に努めたいと考えています。

4月以降の主な活動状況報告

4月初め 本館2階の資料室の改装・『海原会連絡室』整備

8月22日 定例役員会（ZOOMによる開催）

9月6日 臨時役員会（ZOOMによる開催）

2回の役員会で次の主なイベントが決められました。

- ・ ゴルフ大会、見学会の中止
- ・ 決算、予算案の検討

9月19日・海城祭 海原会サロンのオンライン参加

海原士業会

今年度は模擬評議を開催

を行う「模擬評議」を行いました。
参加した生徒たちは仮定の強盗犯殺



平成31年度決算・令和2年度予算

（平成31年4月1日～令和3年3月31日）

単位=円

収入の部	平成31年度予算	平成31年度決算	令和2年度予算	備 考
永年会費	2,300,000	2,330,000	2,300,000	
年度会費	600,000	580,723	600,000	
入会金	3,200,000	3,170,000	3,230,000	卒業生323名を予定
総会参加費	900,000	802,000	0	コロナ禍により総会中止の為
その他収入	0	0	0	グッズ販売は実施しない
寄付金	100,000	353,000	200,000	寄付他 近年の実績を考慮
雑収入	1,000	67	1,000	受取利息他
合計	7,101,000	7,235,790	6,331,000	
支出の部	平成31年度予算	平成31年度決算	令和2年度予算	備 考
会議費	200,000	177,000	50,000	コロナ禍により常任幹事会中止の為減額
総会運営費	800,000	790,000	0	コロナ禍により総会中止の為
会報印刷発送費	4,800,000	4,831,856	4,900,000	51・52号とも発行部数17,700部で見積
会報編集費	100,000	74,020	100,000	
通信費	200,000	302,111	200,000	会員所在確認の為の郵送費
後援活動補助	200,000	200,000	200,000	吹奏楽団後援
慶弔費	20,000	0	20,000	
振替手数料	30,000	55,100	30,000	
賃借料	120,000	112,994	120,000	
事務費	150,000	154,592	150,000	
海原会賞	20,000	30,000	30,000	実績から受賞者3名で予備確保
備品費	50,000	89,528	200,000	HPのセキュリティ強化予算の確保
グッズ売上原価	0	0	0	グッズ販売は実施しない
海城祭参加費	150,000	125,700	50,000	コロナ禍により海城祭規模縮小の為減額
寄付金	210,000	210,000	200,000	成人式祝い金他
記念品費	0	0	0	記念品は在庫で対応
旅費交通費(グッズ販売)	0	0	0	グッズ販売は実施しない
配送費(グッズ販売)	0	0	0	グッズ販売は実施しない
雑費(グッズ販売)	0	0	0	グッズ販売は実施しない
法人税等	0	0	0	収益事業廃止の為税負担無し
合計	7,050,000	7,152,901	6,250,000	
前年度繰越利益金	10,753,009	10,753,009	10,835,898	
当年度損益	51,000	82,889	81,000	
次年度繰越利益金	10,804,009	10,835,898	10,916,898	

海原会への連絡について

- 1 なるべくHPからのメールかFAXでのご連絡をお願いします
- 2 留守電にはすぐ対応できないことがあります
- 3 必ず、氏名、卒業年、連絡先をお知らせください
- 4 海原会の要件で海城学園に問い合わせ等の電話をしないでください
- 5 年末年始（12月20日（日）～1月8日（金））はお休みいたします

海原会ゴルフ会

年一回の大会と別に 小規模コンペも実施へ

原会ゴルフ会の活動指針としても、海原会ゴルフ大会と冠付けしたイベントは従来通り1年に1回10月に開催していく予定でございます。但し、ここに来てゴルフ好きの諸先輩の方々から、有志でゴルフをもう少し楽しみたいとのご要望

20人の生徒が参加

ここ何年か、海城では法曹関係に興味のある生徒を対象に、海原士業会の中山泰章さん(昭61卒)の所属する第三東京弁護士会の協力で、模擬裁判を実施しています。今年もコロナ禍の中ですが10月7日に20人の生徒が参加して開催されました。内容は3密を避けるためいつもの模擬裁判ではなく、裁判のDVDを見て、その内容を評議し有罪か無罪かを述べ合うディスカッション

人事件についてのDVDを見ながら、その証人の発言は信用できるのか、事実とされるものをどう捉えるか、「疑わしきは被告人の利益に」の精神に基づいているかなど、弁護士士の指導のもとにいろいろな観点から評議し、被告の有罪無罪を判断をしました。中山泰章さんによると「海城生はしっかりと言語化して意見を述べる」と立ち会った弁護士たちも感心していました」と語ってくれました。

(広報委員会)



先般の海原 が出てきました。つきましては海原会ゴルフ会 同窓会誌で 発表してあります。第9回海原会ゴルフ大会は、コロナ禍の影響を受け、今年中止とさせていただきます。

その代わりといつてはなんですが、同日ゴルフ会会員有志でゴルフ場視察も兼ねて、4パーティー12名でプレイを行いました。今後の海

海原会ゴルフ会実行委員長 昭和47年卒 石黒淳一郎 メールアドレス juni1496@gmail.com



法人事務局
入試広報室

塩田 顕一郎

(平成30年卒)

現在の様子

新型コロナウイルス感染症による学校生活への影響は今なお続いているが、感染防止対策を徹底し、学内での授業、部活動はほぼ平常通りにおこなわれています。

現在、本校がおこなっている主な感染防止対策は以下の通りです。

- ① マスク着用
- ② 毎朝自宅で検温し、スマホやPCから専用フォームに入力して登校する。検温を忘れてしまった生徒は、朝のHR前に検温をおこなう。
- ③ 登校すると生徒自身が自分の机や椅子などを消毒する。
- ④ 授業時間を50分から45分とし、午前3コマ午後3コマで実施。
- ⑤ 簡易の手洗い場を各所に増設し、休み時間や食事の前には手洗いを励行する。
- ⑥ 食事中の感染リスクが高いので、昼

食はお弁当を持参し、前を向いて静粛に食べる。(学校再開後も食堂は休業していたが、10月12日から弁当販売のみ再開)

⑦ エレベーター乗車人数の制限

一方、多くの人が集まる学校行事は縮小や中止を余儀なくされ、海城祭は9月12日(土)の1日に短縮し生徒だけの内部開催となりました。残念ながら中学体育祭や高校修学旅行は中止となりました。また、本校主催の学校説明会もすべて中止となりました。

休校期間中の遠隔学習指導

4月14日に新学期が始まりましたが登校することはできず、5月31日まで自宅で遠隔学習となりました。長期に及ぶインターネットを介した遠隔学習は生徒も教員もはじめての経験ですので、一方向から双方向へと段階的に進めていくことになりました。元々、海城ではICT教育を推進してきましたので、比較的スムーズに遠隔学習への移行ができました。授業はオンデマンド(非同期)を基本とし、朝のHRや個人面談などはオンライン(同期)で実施し、学習効果を高めていきました。具体的な様子は、学年ごとの「遠隔学習指導レポート」がホームページの「生徒を知る」に掲載されていますので、



ぜひご覧ください。

学校活動再開後の様子

緊急事態宣言が解除され、6月1日から学校活動が再開しました。延期となっていた中学入学式もこの日に挙行しました。しかし、アリーナに新入生を集めることはせず、教室でのライブビューイングという、新しいスタイルでの入学式をおこないました。それでもようやく海城の門をくぐることで、級友と出会えた新入生の顔はとても晴れやかで、保護者の方もホッとされているように見えました。

2月27日に政府から休校要請が出され、3月2日から5月31日まで約3ヶ月にもおよぶ臨時休校となりました。この間、海城では生徒たちの学びを止めぬよう、教員と生徒が力を合わせて遠隔学習を進めていくなかで、新たな発見や進化もありました。ひとつは、生徒たちの前向きな頑張りです。前述したように海城祭は1日だけの内部開催となりましたが、生徒たちはそれにめぐることなく、コロナ禍だからこそできることに挑戦しようと「オンライン海城祭」を同時に企画。YouTubeチャンネルで海城生の日頃の様子や部活動の紹介など多彩なコンテンツを次々と公開しました。なかでも校内ツアーの動画は15000回を超え、視聴回数を誇りました。生徒たち自身が撮影・編集して作った動画は高校生らしい斬新な切り口で、センスも秀逸、海城生のスマートさが見事に表現されていたと思います。海城に足を運ぶチャンスがなかった受験

コロナ禍を経て、さらに前進!

ため出席番号の奇数と偶数で2グループに分け、月水金の登校と火木土の登校を隔週でおこなう「分散登校」からはじめました。そして、7月6日からようやく「二斉登校」となり、それ以降は徐々に海城の日常風景が戻ってきました。

生や受験生保護者からも「海城の様子がよくわかりました」「動画のクオリティの高さに感動しました」と好評を博しました。もうひとつは、ICT教育の進化です。従来も高校生にはiPadを持たせ、授業や家庭学習で活用してきましたが、この9月から中学生全員にMac Book Airを配布。文科省のGIGAスクール構想が打ち出されたなか、海城はいち早く「1人1台のデバイス」を実現しました。これによって情報教育の充実やSTEAM教育など、海城の教育はさらに前進していくことでしょう。

9.14 START

オンラインで会いましょう。

海城祭

今年の海城祭は全く新しいオンライン開催です。
YouTube、web サイトで公開して参ります。
12月1日 海城祭「海城祭」実行委員会



コロナ対策で陣頭指揮 最前線で奮闘

江戸川メディケア病院 院長

古市基彦 さん

ふるいち もとひこ（昭和62年生）

「1カ月前までは病院もパンク寸前、私も10日間病院に泊まり込みということもありました。いまはちよつと落ち着きましたが、この半年一日も休みなしです」。最前線でコロナと戦っている医療現場はやはり想像以上の過酷な環境での対応を迫られている。それ

でも「うちは早くから手を打って、マスクと防護服とかも確保したし、重症患者の治療に必要な機材の整備、人員の確保もできたのでましな方です」と古市さんは疲れも見せずこれが医師の仕事だと言わんばかりにけろりと語る。

半年休みなし

古市さんが院長を務める江戸川メディケア病院は東京でもいち早くコロナ患者を受け入れる専門病棟を整備し江戸川保健所と協力して取り組んでいるコロナ対応のい

わば先進病院である。古市さんの病院で初めてコロナ感染者を受け入れたのは3月のはじめだった。幸いその患者は軽症で1週間ぐらいて退院できたが、2003年ごろ世界的に流行したSARS（重症急性呼吸器症候群）の治療にかかわった経験のあった古市さんはこの時に「これはやばい」と思ったという。「新型コロナもSARSと同じ呼吸障害や肺炎を起こすことが分かっていたので、すぐにそれに対応できる医療設備や人員の配置を進めました。その一方で病院内での感染防止のため、一般診療の患者とコロナ感染者を分ける方策や隔離など病院の受け入れ体制の整備に動いた」といいます。

コロナ以前に規制と戦う

丁度新しい病棟を建設中だったこともあって、隔壁などの追加設計に動きだしたのだが、病院はベッド一つ動かすのも申請して許可を受けないとだめな世界。「病室に隔離の壁一つ作るのにも、使つてない旧病棟を利用しようとしてもみんな申請して許可を受けないとできないのです。それ待つ

ていると10日も2週間もかかるわけですよ。患者は日に日に増えているというのに。毎日の担当当局と喧嘩でした」と当時を振り返る。それでも「4月には新病棟のワンフロアをコロナ専門として使えるようにして運営開始。そのころには保健所や江戸川区医師会と連携してPCR検査体制の整備も進め、さらに地域の主要病院と連携して陽性患者の一時受け入れ、入院、診療治療などを分担して行う体制づくりもできました」。

体力精神力は空手から

それにしても当初の修羅場をよくも乗り越えていまなお最前線に立つ体力精神力を持ち続けているのだと感心して聞いてみると、大学で空手をやって、有段者だそう。だ。「高校時代も空手部とか言っていたのですが、その時は稽古もせず名ばかり、学園祭で「海城プロレス」と称して年一回プロレスで発散していた程度。でも大学では本格的に取り組みました。体力には自信があるとのこと。しかも「専門は呼吸器外科なんです、外科というところは、奴

隷」といわれる世界、過酷な条件下で働くのは慣れている」という。不屈の精神は「空手と外科」で鍛えられているようだ。そんな古市さん「成績がいいから医学部へというのはやめた方がいいですよ。大変ですから」と医学部志望の後輩たちへアドバイス。

マスクと手洗い

最後にコロナ感染防止の注意点を聞いてみた。「マスクを外して食べたり飲んだり大声出したりするのは危険です。避けた方がいいです。マスクをして電車に乗ったり映画館に行くことで感染することはまずないです。ただマスクの表面を触った手で顔を触るなどは気を付けた方がいいですね。やはりマスクして手を洗うというのが基本。高齢者はやはり重症化しますので気を付けた方がいいです」との事。感染者を増やさないことが古市さんのような医療関係者を助けることにもなるわけで、我々も感染予防に気をつけましょう。

（小西洋也 記）

注 このインタビューは10月19日に行ったものです



医者が新型コロナウイルスに 感染して入院した体験記

社会福祉法人仁生社 江戸川メディケア病院
内科部長（在宅診療総合内科）

昭和62年卒 雨宮 哲朗

▼私は本年5月に江戸川メディケア病院へ赴任しました。海城同級生で現院長の古市基彦君から声をかけてもらい、昨年11月

中に名前を知られました。

▼3月30日から体調不良と微熱、4月2日の未明に38度まで上がり尋常でない倦怠感、これはコロナに罹患したと直感しました。コロナの入院を受け入れていることを聞いていたので、古市君にSOS、まず確実にだろうと電話問診で入院決定。タクシーも含め公共交通機関には乗れないので、気合い一発クルマを運転して病院へ。CTで肺に独特の影があり、PCRでも4月4日に陽性が判明し、診断が確定。当時はコロナの検査や疑いの段階で入院するのはハードルが高く、その点で私は幸運でした。

▼確立した標準治療はなかった当時、欧州の論文を参考に内服薬で治療開始するも改善が思わしくなく、肺の影もゾツとするほどに悪化しました。8日目まで39度台の熱がビュンビュン出て、
①身悶えするほどの倦怠感 ②頭痛／頭重感 ③食欲不振
の3症候で苦しみました。サイトカインスームという病態です。成績不良患者の出現に、古市君はじめ医師団に危機感が走り、点滴注射に吸入薬と、良いかも知れないといわれていた薬はほぼ全て投入。ようやく快方に向かいました。呼吸機能は一時低

下したものの酸素吸入はせずに済みました。PCR検査で2回連続陰性を確認し16日目に退院。抗体検査では最近も陽性で、免疫字の常識からは免疫を獲得したと考えられます。退院時に残っていた肺の陰も跡形もなく消えました。
▼感染経路は不明ながら、前任の病院で発熱者、感冒症状の患者を沢山診察したので、そこで感染したと推測しています。
▼症状はかなり辛かったですが、古市君ら献身的な医療スタッフの皆さんのお陰で、不安や恐怖はなかったです。体力も回復し、感謝の恩返しにの気持ちで仕事をしています。

今秋の海城高校の修学旅行は新型コロナウイルスの影響で中止となった。修学旅行を行わなかったのは1959年(昭和36年卒)以来、61年ぶりだろうか。さぞかし残念であったと思う。最近の海城高校の修学旅行は秋の沖繩が定番であるが、過去の卒業アルバムを紐解くと、戦後からしばらくは北海道への修学旅行が主流だった。

私が高校2年のとき、昭和60年のことである。修学旅行は北海道だった。札幌、層雲峡、網走と巡り、日高町では農家に民泊をした。日高町を離れる朝、「海城の森」と書かれた看板のある苗木が植えられた山にバスで立ち寄った。あの「海城の森」は今どうなっているのだろうか。日高町の役場で聞くことができた。

海城の森とは、日高町と海城学園が昭和60年に締結したもので、海城が町有地にトドマツ

を植え、それを日高町が管理し、木が十分に育つたとき日高町と海城で収益を分配するとい

うものだった。私の学年の修学旅行から始まっ

ていたのだ。「海城の森」と書かれた看板の除幕式は生徒会副会長の横川経祐くんが務めたようだ。契約期間は53年間、昭和113年までで、当年は現実味の少ない数字だったが、今となつてはあと18年後だ。結構リアルな残り時間になってきた。しかしその海城の森に行ってみると、看板は壊れてしまつたのか既に無く、植林から35年経つたトドマツはすっかり大木になっていた。当時17才の私も今では52才。む

べなるかな。でも海城の森の収益金の海城分は日高町への寄付になる方向であるらしい。

海城の森を訪ねて

昭和62年卒

国井 信男

海城の森のことは私たちが同期だけでなく、それ以降

のOBともたびたび話題になつていて、何人ものOBから「行つてみたら看板があつた!」「看板は見つけられなかったが民泊したうちはあつ

た!」などの話を聞いた。海城の森は私たちの青春の宝物になつている。この宝物はお金では買えない価値があり、海城が日高町に寄付をするなら、全くの大納得である。海城、ありがとう。日高町からは「是非、皆さん、海城の森を見に来てくださいな。修学旅行も北海道が復活できたらいいなあ」との言葉を預かった。日高町に行けないまでも、ふるさと納税

をすると、かつて民泊でお手伝した畑でとれるジャガイモや玉ねぎなどが返礼品としていただけるようだ。パソコンでポチつとしてみるのも良いではないだろうか。



自然を利用した大名屋敷

何かのきっかけで三角山を調べることになった。ちょっと意外だった。明治7年(1874)にあったという。軍事目的で昭和の初めにあつたものと高をくくっていたが驚いた。明治の初めだ。「御一新」の時代ではないか。この辺の地帯を「大久保」と言つた。大久保と言う呼び名(語源は、領地・農耕地・原野などの俗称である。だからこの呼び名はどこにでもある。近世地名としても使われている。

実は私は昭和20年頃から淀橋区戸塚3丁目(現・高田馬場四丁目)に住んでいたで少しは詳しいと思つている。その頃近所に絵を描くオジサン(浜田画伯)が居て、目の前の戸山ヶ原のスケッチに余



網が張りめぐられ、潜つて遊んだ。自然そのもので線路の向こうに海城が見え隠れ、楽しい風景だった。

江戸時代の戸山

その三角山のある「戸山原」とは、徳川御三家筆頭の尾張徳川家の下屋敷であつた。今でいうテーマパークと識者は記している。つまり「尾張藩・戸

海城の地は元競馬場の跡地

昭和27年卒 山本 満男

念がなく付いて回つた。戸山ヶ原の周りは形骸化された鉄条

山御屋敷と称し、「水戸徳川・後楽園」と匹敵するほど素晴らしいと列記している。

資料によると、どうやら総じて「戸山」と称し、大久保の中には、小田原宿を真似た町並みを作り、農夫を雇い田畑を作り、箱根山を造成、湖を模した大小の池を作り、古地図を見ると「御町家」と言う地域に藩士の為の商店街を作り、特に馬の飼育と武芸鍛錬の為にグラウンドがあつたという。

海城の地は元競馬場の跡地

明治7年この辺りは軍用地とされ、尾張藩戸山お屋敷は陸軍戸山学校と

なり、高田村(今の西早稲田)に馬場(高田馬場)がある関係か、明治12年アメリカ大統領グラント夫妻が来日、戸山原に洋式競馬場を設け天皇と臨席の下に歓迎競馬会を開催したという。それを裏書きするように明治14年測量の参謀本部の地図には、三角山、射撃場も品川鉄道(山手線)に沿つて見えてきた。昭和に入つて2年(1927)海城は霞ヶ関校から移転、地図に登場する。

そして昭和23年頃には地図上では戸山ヶ原住宅地と記載、野原のあたりを急激に替え、同窓仲間から30年頃まであつたという。

因みに競馬場は、明治25年上野池之端、同40年に目黒へ、昭和に入つて府中



に移されている。戸山ヶ原と言う大久保地域の自然はもう戻つてこない。

資料・山本博文監修「江戸時代」、浜田熙著「戸山ヶ原今昔はむかし」、新宿区地図平成23年版、本所憲郎著「新宿今昔ものがたり」、河出書房新社「江戸の古地図」



海原会が海城学園の卒業生の同窓会として正式発足したのは大正10年（1921年）5月15日である。翌年の大正11年3月に発刊の会報「海原」に発会式の模様を伝える記事が掲載されている。それによると発会式は学園の講堂に190余名の卒業生、客員が集まつて行われました。「会員相互の親睦を厚うし、其の向上発展を期すると共に、海城中学校の事業を裨補する」とその目的を掲げ、会の名称を学友会誌「海原」の名前を採つて「海原会」とすることにしたとあります。初代会長には当時の海城中学校長であつた吉見乾海氏が選出されました。学園創立（明治24年、1891年）からおよそ30年経てようやく同窓会が作られたこととなります。吉見会長は同会報への寄稿文の中で、「在京有志卒業生諸君の奮起により意外にも速に海原会の成立を見るに至りましたことは、予に於て最も欣幸とする所でありまして、実に百万の援兵を得たるの観があります」とその喜びと感謝を述べ

ています。

先人たちの思い

同窓会をつくらうとの機運は学園創設から10年ほど経た明治35年（1902



復刊第一号

創設までの道のり

いる。誌名は当時の漢文の斎藤良知先生が付けたもので、第一号の題字は伊藤祐享海軍元帥が揮毫したと書かれています。校友会誌はその後、何度かの休止や復刊を経ながらも「海原」の誌名は引き継がれ現在に至っている。

年）ごろに一度高まつていました。海原会創設メンバーの一人である岡 蕃氏（明治35年卒）が昭和29年発刊の校友会誌「海原」復刊第一号に「海原の誕生」と題した

海原会創設100年

一文を載せています。「明治34年のある時、5年生一同で同窓会を創り会誌を発刊しようという議をまとめ、日比谷の校舎の右舷食堂兼集会場所の大広間に集合して勇ましく発会式を挙げた」が学校や上級生らに相談もなく進めたことから問題になつて実現しなかつたと書いています。

発会式の重要人物

「実は発会式で経過報告した佐々木重夫は自分である」と明かしている。



校友会誌第一号

ただこの岡氏らの強い思い呼びかけがあつて、校友会誌は岡氏らが卒業する直前の明治35年春に第一号が創刊され実現して

改めて初めに紹介した同窓会発会式の模様を伝える記事を読んでもみると佐々木重夫（大正4年卒）氏の名前が見つかり、当日は議長から指名されて壇上で「会の創設までの経緯を詳細に報告した」と記されています。さらにその報告に対して「満堂その幾多の困難に打ち克ちて終に本会を生み出されたるの熱誠と努力に

対し限りなき感謝の色を浮かぶ」と最大限の賛辞を記していました。さらに先に紹介した岡氏の名前も登場する。会の名称や会則の内容についていろいろ意見がでてなかなか決まらない状況となつていた中で、「岡 蕃君の発議により会名を吾人に親しみ深き学友会雑誌「海原」の名を採りて「海原会」となし、会則は委員を設けて別に協定せしむることに一決す」とありました。岡氏らが声を挙げてから10年、佐々木氏即ち升本氏らの強い思いと努力の上に「海原会」があります。

2021年、その海原会は創設から100年を迎えます。いまの我々には改めてこの海原会発足の原点、先人たちの思いを振り返りながら次世代につなぐ責務があると思います。

（海原会広報委員会）

訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

昭和04	清水	秀雄	R 1・8
昭和20	真水	慎雄	H 29
昭和20	岩本	三郎	H 29
昭和22	栗岩	隆嗣	R 1・11・5
昭和23	水田	整	R 1・5・14
昭和24	千田	貞宏	H 30・12・3
昭和25	秋山	哲児	R 1・10・2
昭和26	石上	睦	H 30・12・15
昭和28	加藤	雄次	R 1・11・18
昭和28	小室	昭松	H 30・7・17
昭和29	秋田	博史	R 2・1・14
昭和29	本谷	優	H 30・12・7
昭和30	川村	孝雄	R 1・8・22
昭和30	前田	信吉	R 2・9・26
昭和31	田村	健次	H 31・3・10
昭和33	永田	敦一	R 1・12・19

昭和33	浜田	重臣	R 2・4・11
昭和33	原田	米造	R 2・6・3
昭和34	勝村	修	R 1・11・19
昭和36	北川	武司	H 31・2・9
昭和38	佐藤東洋士		R 2・10・18
昭和39	塚原	英雄	R 1・5・13
昭和40	中島	和幸	H 31・2・25
昭和41	石井	憲一	R 1・8・19
昭和41	小林	富雄	R 2・1・13
昭和41	田地野仁志		R 2・2
昭和42	斎藤	精一	
昭和42	牧	八郎	R 1・7
昭和42	益子	修	R 2・8・27
昭和43	末吉	道郎	R 2・9・10
昭和44	安藤	章	
昭和44	井本	裕	H 18
昭和44	岩崎	文雄	
昭和44	金原	道男	
昭和44	高山	利雄	H 30・5
昭和44	武本	圭司	H 31
昭和45	本田	克彦	R 1・10・1
昭和48	島村	治伊	R 1・9・5
昭和49	佐藤	裕之	R 2・3
昭和52	葛生栄二郎		H 30・7・23
昭和59	笠木	雅道	R 1・5・10
昭和63	田中	紀一	R 1・7・19
平成03	上野	雄一	R 2・1・17
平成04	島川	達史	H 25
平成05	高橋	有仁	R 2・9・6
平成14	手塚	修平	

新型コロナウイルスにも負けず 情報交換の親睦会

中国では新型コロナウイルスへの警戒態勢を継続しつつも、今年もプラス成長が見込まれるなど経済活動はいち早く再開・復活しています。

入国者の厳格な2週間隔離生活の適用、また国内移動の際の移動履歴の開示といった対策のおかげもあって、今では、市民生活は日本にお住まいの皆さまが驚くほど正常化しています。(例えば、上海ではオフィスビルや公共施設に入館する際、大抵、随申碼(shi shen ma)という携帯アプリを使って、過去数週間間にリスクの高い地域への移動履歴がないことを提示する必要があります)

とはいえ、症例発生都市が急遽ロックダウンされたり、長期間帰国できないことから生活物資が不足したり(常備薬をきらしてしまふなど結構深刻な問題もあります。喫煙者にはタバコの問題も大きな問題ですね...)と難しい状況は続いており、いろいろな方との情報交換の重要性は以前にも増して高まっていると感じています。



そんな中、上海海原会では、新型コロナウイルスにも負けず、定期的情報交換の懇親会を開催

しています。先日9月11日には、本年第5回の定例会を開催しました。当日は9名の在上海メンバーが参加、スベシャルゲストとして本会の創設者、新山会長にも日本からリモート参加いただき、盛大な会となりました。懇親会は概ね月二回のペースで開催しており、親会は概ね月二回のペースで開催しており、優しくフランクな大先輩方、勢いのある若人衆、活気を増す中堅勢が絶妙に絡み合い、毎回非常に楽しい会となっています。

また、本会では登山愛好家の方々による登

追悼 高橋有仁さん



私は普段年功序列にさほど関心が高くないのですが、ある後輩が年功序列を守らなかったことに酷く心を痛めた一件を書き留めます。その後輩とは、海原会および文化祭実行委員OB会で3代下の高橋有仁君。

知り合った平成初期は6代上の先輩を筆頭に決まって文化祭前になると集まる仲間、その後は新年会も加わり、近年は

本誌・会報海原の編集委員会でも顔を合わせる仲。有仁君による学校周辺の歴史を綴る記事は、物書きの経験ならではの調査力、表現力によって読者を楽しませるものです。文化祭実行委員OBの間では語り種になつている「緑のバジルの代」という私を含め変わり者が多い代にあつて、一緒にぶさけながらも、見た目や発言に品があり独特の立ち位置にいました。

そんな有仁君が守らなかつた年功序列とは、私よりも上の諸先輩をも差し置いて今年、40代半ばで旅立ってしまったことです。元々体が弱かつたことは知っていました。しかしなぜか。

会報編集会議が新型コロナウイルス対策でオン

山部があり、週末、上海近郊の山々を巡ります。初心者の方も、大先輩が優しくアドバイス下さいますので安心です。

上海海原会では、年次問わず、海原会員の皆さまのご参加を心から歓迎しております。上海にお住まいの方、近郊都市にお住まいの方、出張で来海される方、ぜひともお気軽にお声掛け下さい！

連絡先 船津(フナツ、平成11年卒業)

mtchuo_funatsu@yahoo.co.jp

ラインになる前、また高田馬場でメシを食おうと言ったこと、みんなで一緒に年を取り、海原会の太先輩方のように笑い合つて過す第2の人生を漠然と想像していたこと。まるで突然映像フィルムが切れてリールが空回りし、スクリーンが白く眩しく光っているかのようで、一報を聞いた時は呆然とし、そしてじわじわと悲しみが込み上げてきました。その後海城OB外からも持病の悪化という訃報が入る中、なぜか、という自問には、そういう時代だから、と有り体の理屈を充てがって気をしづめるしかありません。

9月11日のお別れの間では、生前の有仁君が仕事を通して地域の方々に愛されていたこと、私達の前では片鱗を見せることなく実はトに強く職業にもしていたことなど、これまで見せてくれなかつた人生のメインストリームを初めて知ることとなりました。爪を隠す品格は最期まで貫かれたのです。寄せ書きには「先にそつちで文化祭を始めてくれなかつたことと書きましたが、そんなことはみんなが揃つてからでいい、まずはゆつくり休んで、気が向いたら現役生の文化祭や我が海原会の発展を見守ってください。

つきなみだけど、おつかれさまでした。またね。

平成 年卒業 岡本浩太郎

永年会費納入者 (敬称略)

平成30	古川城太郎	平成30	和田 悠佑	平成31	中根 渉
平成31	葛山 裕己	昭和62	後藤 純一	平成31	矢口 悠介
平成12	南部 達郎	平成31	小野寺駿斗	平成31	藤田 隼人
平成07	南部 弘樹	(五年間)	(五年間)	昭和29	秋田 博史
平成05	汐崎 光	平成31	角田 朋也	(寄付二万円)	
平成30	櫻田 将人	昭和30	伊藤 強	昭和51	川原 一志
平成30	榎本 涼	(永年三万円、寄付二万円)	昭和30	鈴木 孝裕	
昭和34	神地 正毅	平成08	小林 正之	昭和41	鈴木 莊介
(寄付二万円)		平成14	手塚 修平	(追加二万円)	
昭和54	是川 晴彦	平成31	西角井孝大	昭和31	高田 茂樹
平成31	紫関 陸	(寄付一万円)		(追加三万円)	
平成31	鈴木 悠史	平成24	平山 創	平成08	小泉 友季
昭和53	中島 一城	(寄付一万円)		平成08	武内 進
昭和31	丹生 光明	(五年間)		平成09	櫻井 俊宏
(追加三万円)		平成31	佐藤 馨太	(追加三万円)	
昭和41	福島 賢哉	平成31	小笠原光希	平成22	福田 崇
(追加五万円)		昭和50	川合 清孝	平成14	旭 啓之
昭和41	森山 昭洋	平成22	木下 祥	昭和52	飯田 真理
(五年間)		昭和49	中本 俊一	(追加三万円)	
昭和44	加藤 正芳	平成31	杉中 史哉	平成31	清水拓真
(追加三千元)		平成27	杉中 勇吾	平成31	森口 一将
昭和54	佐々木康博	昭和41	片庭 稔	昭和48	高橋三三夫
平成21	渡邊 悠介	(寄付三万円)		(追加三千元、寄付四千元)	
平成31	村上 浩隆	平成29	熊崎 海人	平成31	黒田 貴士
昭和30	竹森 良一	昭和61	高木 伸幸	昭和37	矢崎 武人
(永年三万円、寄付二万円)		平成06	三浦 和也	平成03	宇都宮 祐
平成30	榎本 涼	昭和56	河野 倫数	(永年五万円、寄付十万円)	
平成31	山田 龍玖	平成31	増本 貴大	昭和37	鈴木 潔
平成29	奥村 太河	平成04	松崎 洋海	平成07	池田 雄次
平成31	廣岡 聖司	昭和58	内山 忠夫	平成31	鈴木 雄大
平成04	細川 朝之	(追加三万円)		(追加三千元)	
平成15	安藤 晃一	昭和48	高橋 啓	昭和36	木村 弘昭
(五万円)		昭和47	野村 玉置	(追加三千元)	
平成09	柴田 琢磨	昭和46	井口 茂樹	(寄付二万円)	
(五万円)		(寄付一万円)		昭和41	菅原 進
昭和35	早川 宏	平成31	金井 優樹	昭和58	石 健児
(追加三万円)		(寄付三千元)	永田 敦一	平成30	遠藤 守琉
昭和31	田村 健次	昭和33	昭和33	平成04	荻島 悟
(寄付二万円)		(寄付三千元)			

昭和58年卒 6年8組クラス会

コロナ騒ぎの前に16人集まる

今年の1月18日(土) 昭和58年卒6年8組(担任・黒木先生)のクラス会を新大久保にある居酒屋鍛冶屋文蔵にて開催しました。6年連続の開催となりましたが、今年も新たなメンバーが参加して、ようやく16名の輪が出来ました。皆好き勝手に喋って騒いで3時間、来年の再会を期して散会しました。

(奥村周永)

【参加者】会田、大島、奥村、尾又、小俣、高橋、中溝、花田、堀、堀内、深沢、村松(12名、敬称略)



昭和62年卒 同期会 11月にゴルフコンペを開催

海城六(云)コンペと銘を打ち、1995年ごろから、年に1〜2回やってくるゴルフコンペ。今年は11月8日に実施しました。春は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止しましたが、きつちり対策をして開催にこぎつけました。今回の優勝は伊藤和寛君。毎回参加者は8〜10人程度だが今回こそ、12人以上の盛大なコンペをやろうと誓い合い、お開きとなりました。今回は2021年5月。

同期みんなの参加求む！
今回の参加者

北嶋義人(1組)・河島浩平(2組)・伊藤和寛(3組)・国井信男(3組)・景山昇一(3組)・志摩渉(4組)・佐々木雅人(6組)・松村学(6組)・大図泰広(9組)



2020年11月8日 大衆CC

掲示板

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートから会報のバックナンバーの閲覧ができます。閲覧にはパスワードを設定しております。ユーザー名はkaihouです。

パスワードは2020年12月14日までは「H31_r01K」
2020年12月15日からは「NeW:r1ka」になります。

自薦他薦、海城OBのお店情報を
お寄せください。

海腹グルメ ⑭ 東上線 大山

もったい 居酒屋

東武東上線の大山駅から徒歩1分。「もったい」で腕を振るうのが川島鶴幹さん(平10卒)。海城では中高ともに剣道部。内堀先生や馬場先生から鍛えられる毎日であった。生物の長島先生をはじめ、当時の海城にはキャラの濃い先生が多かったと回想する。実家が板橋にあった寿司やそばを出す和食店だった。近くには理化学研究所や極地研究所があり、湯川秀樹をはじめそうそうたる科学者に愛された店だったという。大学卒業後、川島さんはまず実家で働き、料理人としてのキャリアをスタートさせた。



お店はお父様の引退に伴い60年以上の歴史に幕を下ろすことになるのだが、ここで川島さんは考えた。いきなり自分の店を始めようとはなく、飲食業界を見まわして経験の引き出しを増やしてから考えよう、と。パンケーキ店、ハンバーガー店、しゃぶしゃぶ店などでマネージメントなどの実務を経験。満を持してサラリーマン時代の仲間と「もったい」をオープンした。2019年の3月のことだった。



「もったい」はカウンター5席に4席がけと2席がけのテーブル席。全部で11人席という小さなお店だ。さまざまな視点から飲食業界を見てきた経験を生かし、川島さんは自ら旬の食材を選ぶ。「高級食材は使わないが、

美味しく安全なものを揃えます」とのこと。

「もったい」という店名にしたのは、あるとき、「もったいない」を外国人に説明できなかったことがきっかけだったという。川島さんが後日調べてみたところ、「もったいない」は元々「もったい」が無いということ。「もったい」とは仏教用語で「本来あるべき姿」を指すのだという。食の本来あるべき姿を求めるお店ということだろうか。料理はアラカルトにもコースにもできる。本格的なてんぷらをアラカルトで注文できるのはうれしい。一押しメニューは？との問いに、川島さんは「サバの味噌煮」と即答。昔実家の店を出していた味で、おばあ様の代から半世紀以上続く秘伝の味だという。「ウチのサバ味噌は別格です！」とのこと。酒も進むがご飯も進む。

との絆が深まった気がするという。

「渦中是对人、政策、疑心暗鬼になり大切な事を忘れてましたが、相手を思いやり応援することにマインドをシフトすることで、自身もお店も救われたと思います」と川島さん。今回のピンチを乗り越えて、もったいの味にさらに深みが増したということだろう。

★特典★ 初回に限り、12月1日から来年1月31日までの来店時に「会報見たよ」の合言葉で、飲食代を20%OFF

もったい

東京都板橋区大山東町59-114
TEL 03(6909)6869
営業時間 17:00〜24:00
定休 木曜 (国井信男 記)

編集後記

◎海原会の皆様 新たに会報部会委員になりました横嶋良太(平成55卒)と申します。私は十数年前から海原会総会に毎年出席するようになり、総会を通じて様々な業界で活躍している先輩・後輩の方々と交流を持たせて頂いております。これからも海原会での繋がりを大切にしたいと思っています。最近になって会社の同じ部署の先輩が出身者だと知ったときは驚きました。えっ！あの「海城！」的な。皆さんの身の回りにも、探してみると意外と海城出身者がいるかもしれませんね。

◎戦前に、修学旅行で満州へ行つたか、行こうと企画した学年があったと聞いたことがある。大先輩のほら話だったのだろうか。

◎前号に続き今回もテレワーク。コロナ禍の長期化で息切れ寸前です。いつまでの隠遁生活のような状況が続けばよいのか。先が見えない人と触れ合えない、想像もなかったストレスに負けそうですが何とか踏ん張っています。いつもの編集会議早くしたいですね。(森山)

◎会報発行時点で在宅勤務開始から8ヶ月経ち、今後更に続きます。先送りされていた変化が前倒しされたのだと現状を無理に肯定する意見も聞きますが、あまり力む必要はないのではないのでしょうか。そう思える鈍感さは海城生時代に養った強さかもしれません。(岡本)

編集担当

森山昭洋 (S41)
小西洋也 (S41)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)
横嶋良太 (H05)